

令和4年1月5日

受験生の皆さまへ

大阪体育大学浪商高等学校
校長 工藤哲士

新型コロナウイルス感染症等の対応について

本校におきましては新型コロナウイルス感染症等の予防策に努めておりますので、受験生の皆さまは、下記の事項に注意し受験に臨んでください。

記

1. 本校の取組み

- ・試験会場内は、定期的に換気を実施します。休憩時間には、各教室の窓と扉を開放します。
- ・試験会場内各所に手指消毒用アルコールを設置します。
- ・試験会場内の手すり等や、試験会場の机および椅子は前日に消毒清掃を行っています。
- ・各教室には、加湿器を設置します。
- ・本校教職員は、マスクを着用します。
- ・本校教職員は、毎朝検温および体調の観察を行い、体調不良者は勤務しません。

2. 受験生の皆様へのお願い

(1) 入試前日まで対応していただくこと

- ・試験日の2週間以内に発熱・咳等の症状がある場合は、医療機関に受診し治療してください。

(2) 入試当日に対応していただくこと

- ・試験会場では、本人確認等の場合や昼食時以外は、常にマスクを着用してください。
- ・昼食は、試験会場の自席で食事をしてください。
- ・入場の際、混雑緩和や検温などで時間がかかることがあります。時間に余裕を持ってお越しください。
- ・入場後、体調に異変を感じた場合は速やかに申し出てください。後日、受験をして頂く場合があります。
- ・休憩時間や昼食時間も含め、他者との接触や会話を極力控えてください。
- ・試験会場のトイレ等を利用する場合は、他の受験者との距離を保つようにしてください。
- ・試験会場に入場の際は、アルコール消毒液での手指消毒を行ってください。
- ・試験終了後、混雑を避けるために時差退出を行いますので、予めご了承ください。
- ・試験会場内および帰宅途中のごみ箱にマスクを廃棄しないでください。
- ・受験後に新型コロナウイルス感染症への感染が判明した場合は、新型コロナウイルス感染症相談窓口及び本校(072-453-7001)に速やかに連絡してください。
- ・本校受験生が新型コロナウイルスに感染している事が判明した場合は、濃厚接触者の特定のために保健所等の行政機関へ個人情報を提供する場合がありますので、予めご了承ください。
- ・保護者控室は設けません。

(3) 当日の受験を認めない方（必ず中学校から連絡してもらってください。別日受験を予定しています）

- ・学校保健安全法で出席停止が求められている感染症に罹患し治癒していない方。（参考資料：裏面）
- ・保健所等から濃厚接触者に該当するとされた方で、PCR検査の結果が出ていない方。
- ・試験当日の検温で、37.5度以上の熱がある方。

※前もって連絡していただいてもかまいません。

※別日受験の日については、中学校から連絡していただきます。

(4) 前日までに連絡していただく方（必ず中学校から連絡してもらってください）

- ・慢性的な疾患等により、マスクの着用が出来ない方。
- ・慢性的な疾患等により、平熱が37.5度以上ある方。

3. その他

受験に関してのご質問等は、入試対策室(電話：072-453-7972)に、お電話下さい。

■ 感染症の種類と登校停止期間の基準

感染症の種類		登校停止期間の基準（以下の基準に基づき、主治医が判断する）
第1種	エボラ出血熱	治癒するまで
	クリミア・コンゴ出血熱	
	痘そう	
	南米出血熱	
	ペスト	
	マールブルグ熱	
	ラッサ熱	
	急性灰白髄炎	
	ジフテリア	
	重症急性呼吸器症候群（SARS コロナウイルス）	
	中東呼吸器症候群（MERS コロナウイルス）	
	特定鳥インフルエンザ	
	新型インフルエンザ等感染症（新型コロナウイルス感染症）	
	指定感染症	
新感染症		
第2種	インフルエンザ（特定鳥インフルエンザを除く）	発症した後5日を経過し、かつ、解熱した後2日を経過するまで
	百日咳	特有の咳が消失するまで又は5日間の適正な抗菌性物質製剤による治療が終了するまで
	麻疹（はしか）	解熱した後3日を経過するまで
	流行性耳下腺炎（おたふくかぜ・ムンプス）	耳下腺、顎下腺又は舌下腺の腫脹が発現した後5日を経過し、かつ、全身状態が良好になるまで
	風しん（三日はしか）	発しんが消失するまで
	水痘（水ぼうそう）	すべての発しんが痂皮化するまで
	咽頭結膜熱（プール熱）	主要症状が消退した後2日を経過するまで
	結核	病状により学校医その他の医師において感染のおそれがないと認めるまで
髄膜炎菌性髄膜炎		
第3種	コレラ	病状により学校医その他の医師において感染のおそれがないと認めるまで
	細菌性赤痢	
	腸管出血性大腸菌感染症	
	腸チフス	
	パラチフス	
	流行性角結膜炎	
	急性出血性結膜炎	
	その他の感染症 ※	

※ 溶連菌感染症、手足口病、伝染性紅斑、ヘルパンギーナ、マイコプラズマ感染症、流行性嘔吐下痢症（ノロウイルスなどによる感染性胃腸炎）